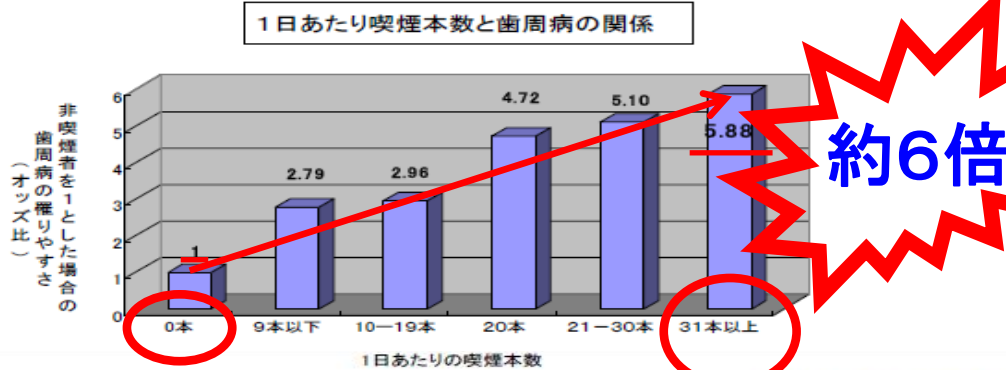


「タバコの本数」と「歯周病になりやすい度」

タバコを吸っている人は 歯周病になりやすいって本当？

喫煙は歯周病にも大きな関係があり、喫煙本数が増えるほど、歯周病に罹りやすくなっていくことがわかっています。(下図では、1日に31本以上たばこを吸う人は吸わない人の5.88倍も歯周病に罹りやすいことを示しています)



喫煙がお口の健康に与える影響は？

口臭

ヤニと煙の特有な臭いがします。

着色

歯やその周囲に黒褐色のタールなどの汚れを付着させます。
ヤニがつくと、歯の表面がざらつき、歯垢、歯石を付きやすくします。



歯周病

タバコに含まれるニコチンは、細菌に対する抵抗力を低下させ、炎症部位の治癒を遅らせます。さらに歯周病を進行させます。

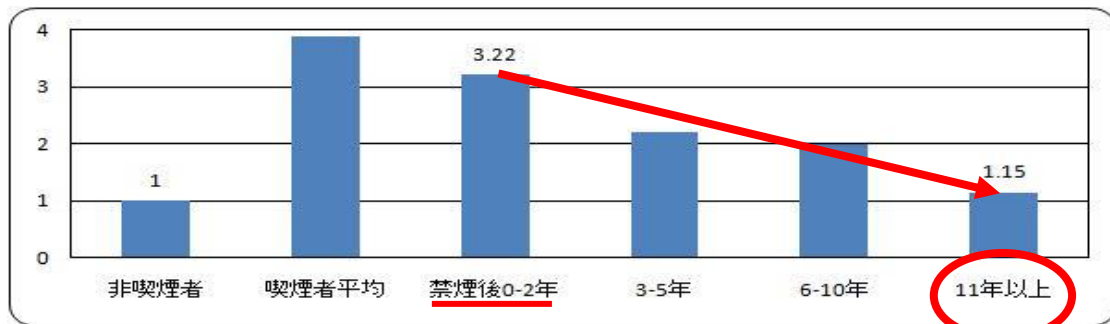
口腔・咽頭ガン

発症率がタバコを吸わない人に比べて約3倍近く高くなります。

(お願い) 自分の歯や、治療した歯を長持ちさせて「**しっかり咬める状態を維持するため**」に早めに喫煙習慣を考えてみませんか？

《禁煙後の歯周病のリスク》

禁煙をおこなうと歯周病のリスクは徐々に低下します。歯周病のリスクは、禁煙後0~2年は3.22倍(オッズ比)ですが、11年後には1.15倍(オッズ比)まで低下します。禁煙をしても**11年**は歯周病のリスクは高いので注意が必要です。



くにお歯科

茨木市舟木町3-27堀東急ビル東棟1階

072-636-8600